

川の本

『川と人びとの暮らし』(完結編) — ⑦21世紀へむけて —



NO. 34 1993年春の号

もっと安全な川をめざして

天災は忘れた頃にやってくる、と言われますが、水害もまだまだあとを断ちません。

21世紀にむけて、さらに安全な川をめざして川の流域全体で総合的な治水対策が進められています。



森林

森林や水田は、雨水を貯えることでは一番おおきな力がある。もし森林や水田がなくなると、雨が降れば川は洪水になり、日照りになればすぐ干上がってしまいます。

二線堤

道路などを高くして万一堤防がこわれたときでも洪水を防ぐ。

水田

浄水場

取水口

雨水貯留施設

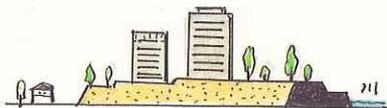
普段は、テニスコートや公園などの施設としてつかい、大雨が降れば雨水を留る池に早変わり。

堤防

洪水から街を守る。

スーパー堤防

巾を思いきり広げて強い堤防をつくり、新しい堤防の上では水辺の街づくりを進める。



従来の堤防

ダム

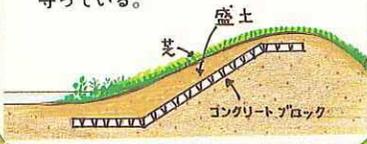
大雨のときには水を留め、洪水を防ぎ
日照りのときは川に水を流す。

砂防ダム

土石流を防ぐ。

緑の緩傾斜堤防

草花におおわれた美しい堤防だが、
土の中の頑丈なコンクリートが街を
守っている。



遊水地

洪水のとき川の水をためこんで
下流の洪水を防ぐ。

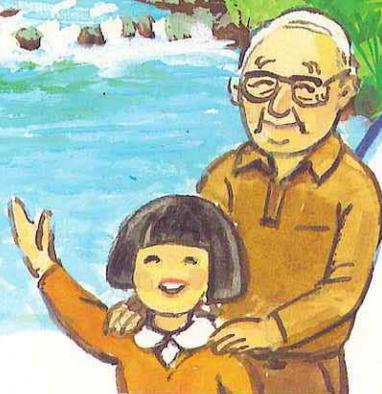
浸透性舗装

雨水が地中に
しみ込めるように
工夫された舗装





ふるさとの川づくり
わたしの町は古い城下町よ、
この町にぴったり似合っ
ていて、おじちゃんの子
供の頃にホテルの飛ぶ
川ができればいいなあ。



地域と一

「この川は、わたしの町
川にするために、地域の
それぞれの地域の文化
取り入れた川づくりが進



マイタウン、マイバー
ぼくの町は都会で遊ぶ場
が少ない。こんな広い水辺
で遊べるよ。



桜づつみ

堤防が町一番の桜並木に早がわり。

体となった川づくり

のシンボルよ」と自慢したくなるような

みんなと一緒に

や歴史などをプランニングから

められています。

- ふるさとの川づくりモデル事業 ●マイタウン、マイリバー整備事業
- 桜づつみモデル事業 ●ラブリバー制度 ●川づくりのモニター制度



ラブリバー

町中のみんなできれいな川を守ろう。

あそびのコーナー

四つ葉のクローバー さがし



幸運の四つ葉のクローバーをさがしてください。いくつさがせるかな。

答えはうら表紙にあります。



自然豊かな川づくり

川は、魚や野鳥、昆虫、植物などを育てる大切な自然の一部です。

いろいろな生物がすみやすい「多自然型川づくり」が日本中で進められています。

わあ、水鳥が
たのしそうに
しているぞ

鳥をびっくりさせないように注意しよう

ぼくにも
見せてよう

淵を守る
淵は川底が深いので
魚も安心。





川岸は自然のままに

護岸は木や石をつかって、できるだけ自然に。

瀬を守る
美しいさなみの瀬は
空気を水中に取り込み
魚のえさ場にもなっている。

●河川に対するイメージ(複数回答)

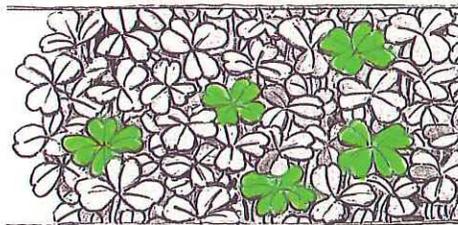


●河川などでしてみたいこと(複数回答)



総理府：治水対策に関する世論調査より 平成3年9月

クイズの答……5本



河川環境管理財団は

みんなに愛される川であるように、こんな仕事をしています。

- * よりよい水辺のプランニング
- * 楽しく安全に遊べる川づくり
- * 川をきれいに、川を愛する心を育ぐくむ運動
- * 未来の水辺を考えた調査や研究
- * せせらぎ・ふれあい基金



監修 建設省河川局
財団法人 河川環境管理財団

Foundation of River & Watershed Environment Management

(〒104) 東京都中央区入船1丁目9番12号

TEL. (03) 3297-2600(代表)